第３学年　国語科学習指導案

平成３０年６月２８日(木)５限

授業者　教諭　傳　加代子

**１　単元名　まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう**

　　　　　　「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」

**２　単元と児童**

**(１)　単元全体の指導目標**

「段落」について知り、「初め」「中」「終わり」の文章構成や、それぞれの段落の内容を捉えることができる。

**(２)　児童の実態(男子１１名、女子１０名、計２１名)**

　　　　児童は、２年生の学習において「初め」「中」「終わり」という文章構成の学習を行い、文章全体の構成が３つから成り立っていることは理解している。しかし、問いに対する答えが「中」で詳しく書かれていることや、段落があることによって、文章を読み取る上でどのような効果があるのかは今回の学習で初めて学ぶ。また、児童の中には文章の読み取りを苦手とする子もいる。段落ごとに、大切な言葉に注目しながら説明文的文章を構造的に捉え、読み取るために基本的なスキルを身に付け、書くことへの学習にも繋げていきたいと考える。

**(３)　単元構成**

　　　　本単元では、『「こまはかせ」になって、オリジナルのこまを考えよう』という単元を貫くめあてをもって、「段落」や、「初め」「中」「終わり」のまとまりに注目して学習を進めていく。第１教材「言葉で遊ぼう」では、まず「段落」というものがどういうものかを確かめる。そして、全体が「初め」「中」「終わり」というまとまりに分かれているということ、「初め」に「問い」があって、「中」に「問いに対する答え」となる事例が列挙されていること、「終わり」には、全体のまとめが記されていることを、段落に注意して捉えさせたい。第２教材「こまを楽しむ」も同様の構造であることから、２つの文章を読むことで、「段落」に基づいて全体構成をつかむ力を育てる。また、学んだ構造を使って文章を書く活動を行うことで、より理解を深めさせたい。

**３　単元の指導計画(全９時間)**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 主な学習内容 |
| 第１次 | １ | ・学習課題を確かめて、学習計画を立てる。  ・「言葉で遊ぼう」を通読して内容の大体を捉える。 |
| ２ | ・「段落」を知り、「初め」「中」「終わり」を確認する。  ・「問い」と「問いに対する答え」の関係を捉える。 |
| ３ | ・「問いに対する答え」を詳しく読み、内容を捉える。  ・「終わり」で述べられている内容を捉える。 |
| 第２次 | ４ | ・「こまを楽しむ」を通読して、全体の構成と内容の大体を捉える。 |
| ５ | ・「問い」と「問いに対する答え」に着目して、各段落の内容を読み、表にまとめる。 |
| 本時６ | ・「問いに対する答え」を詳しく読み、内容を捉える。  ・どのこまが説明されているこまなのか写真を選ぶために、本文をよく読んで証拠を見付ける。 |
| ７ | ・「終わり」で述べられてる内容を捉える。  ・自分がいちばん遊んでみたいこまについて、友達と交流して、意見を交換する。 |
| 第３次 | ８ | ・自分が作りたいこまについて考え、「初め」「中」「終わり」の文章構成で説明を書く。 |
| ９ | ・グループで発表し合い、感想を述べ合う。 |

**４　本時**

**(１)　ねらい**

　正しいこまの写真を選ぶために、本文から証拠を見付ける活動を通して、各段落のこまの特徴を読み取ることができる。それぞれの段落に「つくり」と「回る様子・回し方」のくわしい説明がされていることが分かる。

**(２)　構想**

**①　学習課題設定のための仕掛け：正しいこまの写真を選ぶ**

本時では、「中」にあたる第２段落から第７段落で説明されているこまが、どのこまなのか正しい写真を選ぶために証拠を見付ける活動を通して、説明されているこまの特徴を読み取らせる。また、それぞれの段落には、こまの「つくり」と「回る様子・回し方」が説明されていることを確認する。

**②　学び合いのコーディネート：考えのヒントや、考えの深まりを共有させるために**

　児童一人一人が課題について考え、学び合うために、全体活動の後にグループ活動を設定し、言葉の注目の仕方や、論理的な考え方を共有する場を確保する。

**③　教材・教具の準備**

・ワークシート(児童用)

・拡大ワークシート、掲示写真、テレビ、実物提示装置(教師用)